

# 広報紙充当可能割合確認票

議員名

下地 康教

広報紙名	紙面割合
下地康教 議会活動報告	<ul style="list-style-type: none"> <li>●全体面積: <math>29.7\text{cm} \times 21\text{cm} \times 4\text{面} = 2494.8\text{cm}^2</math></li> <li>●充当対象外記事: 面積計 = <math>0\text{cm}^2</math></li> <li>① <math>0\text{cm} \times \text{cm} = 0\text{cm}^2</math></li> <li>●充当可能割合: <math>1 - (0\text{cm}^2 / 2494.8\text{cm}^2) = 1 \approx 100/100</math>以下</li> </ul>



沖縄県議会  
自民党議会報告

【目次】

- (1面) 表紙・巻頭挨拶 / 台湾視察
- (2面) 代表質問  
ブルーインパルス要請等
- (3面) 2022年一年間の議会質問
- (4面) 議会質問、各所へ視察

沖縄県予算約 8,682 億円過去最高額！

沖縄振興予算は 2,679 億円！経済危機を乗り越え県民性津を守る！

皆様方には、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。日頃から大変お世話になり厚く御礼申し上げます。この度、県議会活動3年目を迎え、「第3回議会活動ニュース」を作成いたしましたので、是非一読頂ければ幸いです。

令和5年2月議会におきまして令和5年度予算が審議され、一般会計当初予算 8,682 億円、沖縄振興予算 2,798 億円が議決されました。玉城知事の県政運営は、普天間基地代替施設問題（辺野古基地建設）をはじめとする米軍基地問題に特化され、政府との連携・協調のパイプが構築されないまま沖縄振興予算は減額の一途をたどっています。市町村で

連絡先  
沖縄・自民党会派室  
〒900-0021  
那覇市泉崎1-2-3 6階  
TEL 098-866-2754



会派HP

は、公共投資交付金（社会資本整備費）や一括交付金の減額予算に伴い、地域における社会資本整備（道路、下水道、公営住宅、公園整備など）や地域の特色を活かした企画立案が実施できない状況が続いております。

これまで、私達、会派沖縄・自民党は、ロシアによるウクライナ侵攻の影響による原油価格や畜産飼料、施設園芸資材などの物価高騰に対する支援策や、電気料金的大幅値上げに対する支援など、県民生活を支える施策を政権与党である自民党とのパイプを十分に活かし、県議会において議論を主導しその対策実現を図ってまいりました。

宮古圏域を含む沖縄県の振興発展を考えた場合、島の景観や環境を守り「持続可能な開発（SDGs）」を目標に、様々な問題点や課題点の解決に取り組む必要があります。下地康教は「一人ひとりの生活に寄りそう政治」を原点に、沖縄県民の命と暮らしを守るため、課題解決に向け全力で取り組んで参ります。どうぞ、これからも皆様方のご指導、ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



今回の台湾視察は、台湾の中心都市である台北市における行政庁訪問と台湾安保協会との台湾有事などについての意見交換を行った。台湾保安協会での座談会では、ロシアによるウクライナ侵攻を事例に上げ台湾有事に係る意見を交わした。まず、台湾市民は、現時点において台湾有事に関する緊迫感や危機感はさほど感じていないとの報告があった。ウクライナは独立国家としてロシアとの間に国境を有しており、侵攻とは国境を超えて他の国が

台湾への視察

武力を行使することであり、国際問題として世界に訴える事ができる。しかし、台湾は国際的に独立国家として承認されておらず、中国と台湾との間に国境が存在しない。そこで、台湾有事は国際上、内戦と判断される可能性が高く、世界の国々から台湾に対する支援を受ける事が困難になる事も想定されるのと。単に、台湾有事と言っても様々なケースを想定して対処しなければならぬとの事であった。私たちの沖縄県は、日本でも最も台湾に近い国土であるため、今後、台湾有事に関してはさらなる議論を深め、今後の政治活動に活かしていきたい。

また、台湾日本協会では、宮古地区選出の議員として沖縄と台湾の友好関係を深めるため、宮古島市にある下地島空港での宮古-台湾直行便開設の要請も併せて行なってきました。

# 代表質問 議事概要

令和5年(2023)  
第1回(2月定例)議会

## 「農林水産物不利性解消事業の現状と課題」 Q下地康教

これまでの輸送費補助は、54の特定品目を指定し、宮古から空輸でキロ当たり140円、海路でキロ当たり35円であった。新たな制度内容では特定品目がなくなり、サトウキビ・米を除く全ての品目で空輸、海路問わず県外がキロ当たり65円、宮古から沖縄本島までキロ当たり30円となった。現場からは戸惑いの声が上がっているが、現状と課題を伺う。

A農林水産部長  
今回の制度変更には3つの目的があります。一つ目は、国の進める農林水産物等のモーターシフト(トラックなどの自動車貨物輸送手段を、環境負荷の小さい船舶などへ転換させること)の推進、二つ目は横持作業の削減による流通・物流の合理化、3つ目は品目の拡大に伴う生産出荷者と物流業者が連携したコールドチェーン(冷凍・冷蔵コンテナ)体制の構築であります。それらにより競争力を高めることを目的にした制度変更となっております。

一般的に少し単価水準が下がることになっていきます。

## 「宮古地区の新たな空港利用計画について」 Q下地康教

宮古地区における宮古空港、下地島空港の2つの空港管理者である沖縄県は、新たな利用計画(宿泊施設の増加に伴う観光客数の増加)を打ち出す必要があるが、県の考えを伺う。

A土木建築部長  
将来の空港需要の拡大に伴う2つの空港の利用計画については、宮古島市や関係団体等の地元の意見を踏まえ、対応を検討してまいります。また、宮古空港においては、将来を見据え、平行誘導路の設置が可能な計画となっております。

「多良間村など離島における水道広域化の課題と対策について」  
Q下地康教  
多良間村など離島における水道広域化に向けた課題と対策について伺う。

A保健医療部長  
多良間村を含む離島の簡易水道の多くは、水源に乏しく、海水淡水化施設など的高度処理の導入により、高い水道料金や浄水処理を行う人材確保など、多くの課題があります。

これらの課題の解決のため、県では、水道広域化のステップ1として、令和7年度までの完了を目指し、本島周辺離島8村の水道広域化に取り組んでいます。多良間村を含むステップ2以降の水道広域化については、沖縄県水道事業広域連携検討会にて検討しています。

## 「農水産物の物価高騰対策の実施状況について」 Q下地康教

全国的な物価高騰の中において、農林水産物における肥料や飼料、燃油等の物価高騰対策は現在どの様に実施されているか伺う。

A農林水産部長  
県では、肥料・畜産用飼料・漁業用燃油・養殖用配合飼料を対象に支援を実施しております。生産者への支払いについては、粗飼料分は昨年11月から、肥料分は12月から、配合資料価格は本年1月から、漁業用燃油分は2月から支払いを開始しました。

「新規就農者へのスタートアップ支援について」  
Q下地康教  
新規就農者のスタートアップ支援についてどの様なものがあるか伺う。

A農林水産部長  
新規就農者への支援として県では、「新規就農者支援事業」による就農相談体制の整備や農業施設等の導入、「新規畑人(はるさ)」資金支援事業による就農準備資金や経営開始資金の給付等の支援を行っています。県としては、引き続き関係機関と連携し、新規就農者への支援に取り組んでまいります。

「下地島空港利活用に係る無償耕作者について」  
Q下地康教  
1971年11月24日付けで、当時の琉球政府と下地島地主会が「空港が整備されれば、地元住民を優先的に空港関連事業に参入させ、用地が整備されるまで無償耕作を認める」との条件を付して用地補償契約を結んだ経緯がある。それを踏まえて、県は、空港用地利活用の在り方をどの様に考えているか伺う。

A土木建築部長  
当時の琉球政府(現在の沖縄県)は、地主会から提示された条件が実現するよう努力することで用地補償契約を締結するにあたり双方合意した経緯があります。例えば営農を希望する耕作者につきましては、宮古島市や関係部局とも連携して今後の対応を考えたいと思っております。

# ブルーインパルス要請

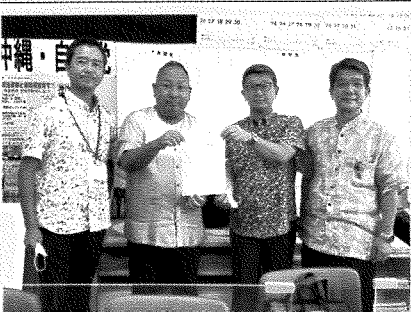
宮古青年4団体連絡協議会(代表幹事:具志堅貴昭氏)より12月11日の宮古島分屯基地開庁記念行事であるブルーインパルスの展示飛行に関する要望を頂きました。  
沖縄・自民党会派を代表して(写真右より)下地康教、島袋大、座波一、花城大輔が要望書を受け取りました。  
我が会派はこれからも離島振興ならびに安全保障体制の構築について全力で取り組んでまいります。



# 離島空港における国際線受入体制維持に関する要請

下地島エアポートマネジメント(株)から、コロナ禍における国際線の運休、国内線の減便による貨物輸送に係るハンドリング会社への経営支援要請がありました。

要請書を受ける、島袋大会派長と下地康教議員



# 沖縄県議会一般質問

(一部抜粋)

令和4年(2022) 第3回(6月定例)議会  
下地康教一般質問議事概要

「離島における廃タイヤ放置及び処分対策について」

Q下地康教

宮古地区では、タイヤ販売店や自動車解体業者において、廃タイヤが大量に保管されている現状がある。その対策について伺う。

A環境部長

県としては、沖縄県産業資源循環協会等の関係機関と連携し、タイヤ販売店等の事業者に対し、廃タイヤの引取りに際し、タイヤ処理費用に係る適正な料金を徴収すること等により、適切に廃タイヤの処分を行うよう、指導・助言して参ります。

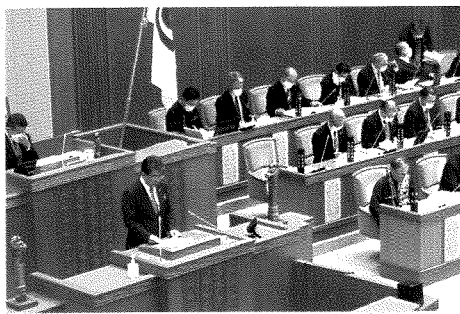
「宮古地区県道冠水被害について」

Q下地康教

狩俣砕石所が隣接する県道交差点の大雨による冠水被害の対応を伺う。

A土木建築部長

宮古管内道路の冠水状



況については、県道保良西里線の城辺保良付近や、県道平良城辺線の袖山入口交差点付近の市道において、大雨により道路が冠水し全面通行止め等規制を実施している状況が発生しています。冠水箇所については、今年度調査設計に着手しており、今後、浸透枳の設置等、必要な対策を実施してまいります。

「県道における植栽管理について」

Q下地康教

県道植栽の雑草繁茂が著しい。管理状況を伺う。

A土木建築部長

宮古管内の県管理道路

では、年1回から2回程度の除草を行なっている。現在、沖縄本島内で実施している性能規定方式を令和5年度から宮古地区で実施するため、関係機関と意見交換を行う等、導入に向け取り組んでいます。

令和4年(2022) 第6回(9月定例)議会  
下地康教一般質問議事概要

「パラオカツオ漁技術支援に係る助成金について」

Q下地康教

パラオ漁業研修における伊良部漁協の貢献度は大きいものがある。事業の経費負担についてか伺う。

A農林水産部長

県では、沖合漁業の振興を進めるパラオ共和国の漁業者に対し、カツオ漁業等の技術研修の実施について支援を行っています。今年度は、伊良部漁協の漁業者の指導の下、6月にはJ A I C、また7月には海外漁業協力財団の事業によって研修が実施されたところであります。

「クルマエビ養殖場の改修について」

Q下地康教

宮古島漁業のクルマエビ養殖場では、急性ウイルス血症の発生により、クルマエビ生産が中止に追い込まれた。その後の県の対応を伺う。

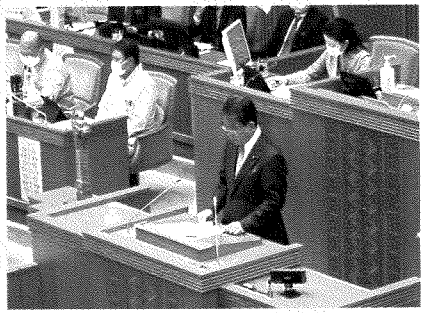
A農林水産部長

施設の老朽化により外海からの海水侵入による影響が考えられることから、国庫補助事業の水産物供給基盤機能保全事業を活用した改修事業が可能と考えられます。本年度は、補助事業採択に向けた施設老朽化の現況調査を実施し、来年度に事業計画書の作成、令和6年度に事業実施を計画しております。

「下水処理の溜枀設置問題について」

Q下地康教

合併処理浄化槽で処理した水を、なぜ、公共用水域(海や排水路等)に



放流できないのか伺う。

A環境部長

沖縄県浄化槽取扱要綱では、公共用水域(海や道路側溝など)に処理水を放流する場合、単独処理浄化槽で処理した放流水のみの想定しかありません。現在、要綱では、合併処理浄化槽による処理水の放流基準がなく、合併処理浄化槽に係る地下浸透装置の基準や高度処理基準の制定を検討しているところであり、つきましては、土木建築部や保健所、宮古島市など関係部局と調整を行うた上、必要な規定を今年度中に整備したいと考えています。

「マクラム通り線整備事業について」

Q下地康教

現在のマクラム通り線整備事業の進捗状況を伺う。

A土木建築部長

マクラム通り線は、現在、北給油所交差点からヤコブ保育園が隣接する下里北交差点までの延長340メートル、幅員16メートル、2車線の工事内容で事業が進んでいます。

令和3年度末の事業進捗状況は、事業費ベース

で79%となっており、下里北交差点(ヤコブ保育園前)から事業終点のカママ嶺交差点までの下里工区は、下里北交差点から用地取得を進めて行く予定です。

「多良間村国営事業に係る県の支援体制について」

Q下地康教

県の多良間村国営事業の支援体制を伺う。

A農林水産部長

国営土地改良事業の着工に向けて、県では令和5年度概算要求で国営多良間地区の全体実施設計に係る経費を要求しています。県としては、引き続き、多良間村及び地元との推進協議会と連携して、灌漑施設整備等の関連事業に取組んでまいります。



令和4年(2022) 第7回(11月定例)議会 下地康教一般質問議事概要

「ブルーインパルス展示飛行に係る宮古空港使用について」

Q下地康教 ブルーインパルスが宮古空港を使用して展示飛行を行いました。知事は、宮古空港の使用をどの様に考えているか伺う。

A土木建築部長 県としては、公物管理の観点から支障を来す恐れがなければ、空港の使用を拒否することはできません。安全面や民間航空機への影響、駐機場の確保等について空港管制、空港管理事務所やエアラインなどの関係機関に照会し、今回の空港使用に關して不備がないことを確認しています。

「肉用子牛価格下落による生産者奨励金の実施状況について」

Q下地康教 優良肉用子牛生産推進緊急事業の実施状況を伺う。

A土木建築部長 子牛の販売価格が変動基準価格を下回った場合に奨励金を交付する事業であります。本年6月から12月まで

の臨時措置として実施されております。本事業の実施状況は、発動基準価格の1頭当たり60万円を下回ったため、肉用子牛生産者に対し、1頭当たり1万円の奨励金が交付されます。

「宮古島市農振計画の変更協議の取組状況について」

Q下地康教 前回の議会において宮古島市における農地転用基準に関する事前協議状況を質したが、その後の状況を伺う。

A農林水産部長 宮古島市農振地域の全体見直しについては、予備調査が続けられており、10月下旬には担当課が現地向かい、農振除外で課題となっている主な箇所の現地確認を行っています。

今後、宮古島市と連携して農振法やガイドラインに従い、同意基準に沿



辺野古訴訟裁判に関する一般質問

った適切な運用となるよう取組んでまいります。

「福祉医療について」

Q下地康教 重度心身障害者医療費助成に関する現物給付について実施できないか伺う。

A子ども生活福祉部長 現在、県内全ての市町村では、こども医療費助成制度の現物支給が実施されておりますが、重度心身障害者医療費の現物給付の導入については、令和4年4月時点で各市町村に意向調査を行ったところ、自動償還方式の維持を希望する市町村が大部分となっております。

県においては、全国知事会等を通して、重度障害者に対する新たな医療助成制度の整備を要望しています。

記者のメモ



自然史博物館誘致に熱

○…昨年末の土木環境委員会の米国視察後、国立自然史博物館の沖縄誘致に向け、研究に熱が入る下地康教県議(沖縄・自民、宮古島市区)。「スミソニアン国立自然史博物館の巨大なアブリカゾウの剥製には度肝を抜かれた」と話し、展示の質、量、方法、どれを取っても庄巻の内容だったと感心しきり。県議会全体でまとまり、早期の誘致へ県民一丸となった機運づくりを狙う。米国視察には照生義実副知事も同行したことから「しっかり旗振り役を」と執行部への注文も忘れない。

記者のメモ

委員長代行 全うし安堵



○…県議会土木、境委員会で瑞慶覧功委員長の欠席に伴い委員長職を代行した下地康教県議(沖縄・自民、宮古島市区)。慣れないながらも長年の行政経験を発揮。同じ会派の委員にも「質疑は議案の趣旨から外れないように」とくぎを刺すなど手際よくさばいた。一方、付帯決議の提案者を間違え「最初からやり直します」とつまづく場面も。2日間の委員会を何とか乗り切り最後は「新米委員長で大変皆さんにお手数掛けました」と苦笑しながらも安堵。次期委員長の座をぐつと引き寄せたか。

【沖縄タイムスより記事転載】

各所への視察

シュワブ視察・久辺3区との意見交換

会派沖縄・自民党は全議員参加のもと、名護市・金武町を中心に現地視察と地域住民の方々との意見交換会を行いました。  
・キャンプシュワブ内の現況確認  
・久辺三区(久志、辺野古、豊原)地域の方々との意見交換  
・ギンバル訓練場跡地視察  
・KIN サンライズビーチ視察



宮古・八重山における海保の活動状況

沖縄本島、宮古、八重山を担任水域に収める第11管区海上保安部の活動状況をつぶさに視察することで、海上の安全と安心がどのように確保されるのか理解するために行われた。



石川県(金沢)・新潟県(佐渡)への視察





石川県と新潟県における「地域コミュニティの再生」や「離島観光の取組み」「農業教育・就農支援」「公共交通政策」を視察し、今後沖縄県の発展と離島振興等に資する政策立案のため視察を行った。





充当割合:政務活動 のみ全額充当

広報印刷代 又吉清義版(17,000枚)

 Chitose		№ 01337
領 収 証		2005年 4月 7日
又吉清義 様		
金 額	¥ 860,200	
但し 議会報告書 17,000部 印刷 代として		
上記金額正に領収致しました。		担当者 
入金内訳	現金・小切手	
	振 込	
	手 形	
	相 殺	
代 金 ¥		 新しい・楽しい・喜びを届ける... <b>株式会社ちとせ印刷</b> [本社] 〒901-2131 沖縄県浦添市牧港2丁目1番5号 Tel.(098)879-5814 Fax.(098)877-8002 [那覇営業所] Tel.(098)868-5784 [宜野湾営業所] Tel.(098)997-1902
消費税 ( %) ¥		

860,200 - 100,000 (個人負担) = 760,200

印刷代会派負担 760,200 円

# 広報紙充当可能割合確認票

議員名

又吉 清義

広報紙名	紙面割合
又吉清義 議会活動ニュース	<ul style="list-style-type: none"> <li>●全体面積: <math>29.7\text{cm} \times 21\text{cm} \times 10\text{面} = 6237\text{cm}^2</math></li> <li>●充当対象外記事: 面積計 = <math>0\text{cm}^2</math></li> <li>FALSE</li> <li>●充当可能割合: <math>1 - (0\text{cm}^2 / 6237\text{cm}^2) = 1 \approx 100/100</math>以下</li> </ul>



# 又吉清義

会派 沖縄・自民党

令和5年3月特別号

沖縄県議会

〒900-0021 沖縄県那覇市泉崎1-2-3 6階  
電話:098-866-2754 FAX:098-866-2773



## ご挨拶

令和5年度の新年度を迎えるにあたり、玉城県政のこれまでの行政運営の在り方や、我が沖縄県の社会構造、社会環境、県民の健康、寿命がここ数年の間にどの様に変化して来たか、また、将来を担う子供達をはじめ、沖縄県民全体をはじめこれまでのコロナ禍により如何に危機的状況に直面をしているか等、議会でこれまで私自身が議論をしてきた内容等や、令和4年度の主なものを抜粋し議会報告としてまとめ上げました。

議会活動において、これまで多くの皆様から、資料提供であり情報等に感謝申し上げ、議会活動報告に代えさせていただきます。

### 目次

#### (令和4年6月定例会)

- ①マスク着用について……………2
- ②ワクチン接種と感染者数について……………2
- ③知事の就任中、県民を驚愕させた出来事について……………3

#### (令和4年9月定例会)

- ④物品売買契約について……………3
- ⑤マスク着用の現状について……………4
- ⑥大幅に増加した超過死亡について……………4
- ⑦先住民問題について……………5

#### (令和4年12月定例会)

- ⑧安全な飲料水のためPFOS、PFOA対策について……………5
- ⑨コロナ感染対策と現状について……………6
- ⑩これまでの訴訟と結果について……………7

#### (令和5年2月定例会)

- ⑪新型コロナウイルス対策について……………8
- ⑫県人口動態の「自然増減」について……………9
- ⑬内部統制機能の強化について……………9
- ⑭マスク着用に対する子供達からの声……………10

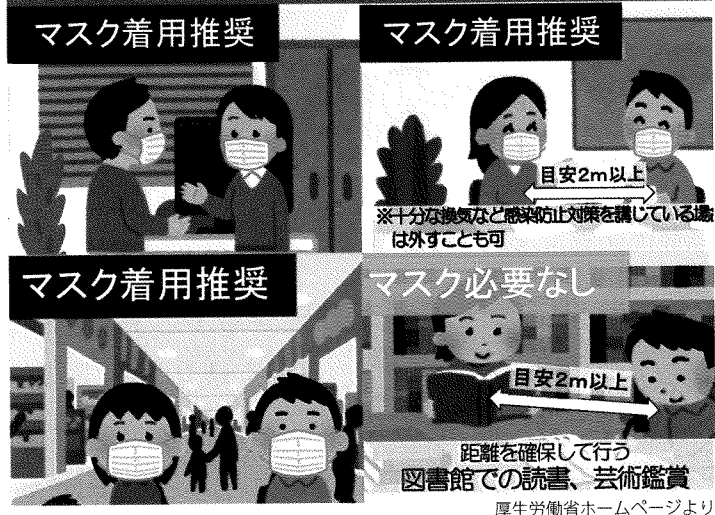
# 2023 議会報告 (令和4年6月定例会)

## ① マスク着用について

### 屋外



### 屋内



又吉：マスク着用を国はどの様に通達をしているか伺います。

保健医療部長：令和4年度5月23日に国が基本的な対処方針を発表、マスク着用は基本的な感染対策として重要であるが、屋外にて他者と身体的距離ができる場合には着用は必要ない。夏場については熱中症予防の観点からマスクを外すことを勧奨することが示されております。

又吉：マスクを着用することにより、心拍数や呼吸数、血中二酸化炭素濃度、体感温度が上昇するなどの身体に負担がかかることがあります。また、高温や多湿環境下では熱中症のリスクが高くなる恐れがあります。マスク着用についての正しい情報をどの様に周

知しているか伺います。

教育長：マスク着用のリーフレットを配布し、体育の授業、運動部活動及び登下校の際には必要ないことを理解、協力を求めるよう、各市町村教育委員会へ周知をしたところです。

熱中症につきましては、命に関わることであります。様々な理由によりマスク着用の必要ない場面でも着用を続ける児童生徒が一定いると聞いており、引き続きしっかり周知を図っていき

又吉：現状は、この周知はほとんど守られておりません。低酸素により、免疫、体力が劣ります。又、教師、子供同士の表情を見て成長して行く過程に弊害があると思います。

教育長：ご指摘のとおり、特に低学年等の子供たちにとっては、担任の表情が見えないがために不安を覚えるということも聞いております。

又吉：児童心理学では、特に保育園、幼児関係、常に顔の表情がわからない、読み取れない現状を非常に危惧されております。教育上よくないです。

教育長：適宜マスコミに情報提供を行って記事として取り上げていただきますよう啓発を続けていきたいと考えております。

又吉：改善が図られ、子供たちの笑顔を見ることが出来たら最高じゃないですか。私はやるべきだと思います。

## ② ワクチン接種と感染者数について

又吉：厚労省が今年発表した3月から4月11日までの統計と、4月12日以降のワクチン未接種者とワクチン接種の30代以上の方の感染者数はどちらが多いか伺います。

保健医療部長：厚生労働省がアドバイザリーレポートで、4月10日までの統計では、ワクチン未接種者のほうが陽性者が多いんですが、11日以降の統計ではワクチン2回目接種者のほうが感染者は多くなっています。

又吉：6月13日から15日の一番直近の資料はどの様になっておりますか。

**保健医療部長**：30代の未接種の新規陽性者は10万当たり77.3人、2回目接種者の方は83.9人。40代では、未接種者が46.3人、2回目接種者は67.2人、50代は未接種者が64.2人、2回目接種者は46.3人。60歳から64歳は、未接種者が32.3人、2回目接種者が42.7人。65歳から69歳は、未接種者が11.9人、2回目接種者が38.3人。70代の方は未接種者が21.3人、2回目接種者が38.3人。未接種者よりも2回目接種した方が新規陽性者が高い世代もあるということです。

**又吉**：ワクチンは、感染をおさえるものですか、発症を抑えるものですか、重症を抑えるものですか、どちらですか。

**保健医療部長**：ワクチンについては、なかなか感染予防というところでは、今議員が指摘したような形であり、重症化予防のための形で今呼びかけているところであります。

**又吉**：ワクチン接種は感染を抑えるものではありませんよと、感染して、無症状の方もいれば、発症し重症化する人もいます。ワクチン接種は感染しても重症化しないためであり、感染予防とは別であると、明確に伝えるべきですよ。

### ③知事の就任中、県民を驚愕させた出来事について

**又吉**：知事の就任中、多くの県民を驚愕させた出来事の思いを知事に問います。

**土木建築部長**：首里城火災により、焼失した正殿を一日も早く復元するため取り組んでまいります。

**又吉**：2020年養豚農家を窮地に追い込んだ豚熱の発生について知事伺います。

**農林水産部長**：特定家畜伝染病の侵入防止のため、畜産農家における飼養管理衛生基準の遵守と指導に取り組んでまいります。

**又吉**：知事は豚熱発生で自衛隊がどんなに苦勞をしたか、感じてないということですね。次にコロナ禍時代の到来について知事どう思いますか。

**知事**：社会生活への影響を最小限に抑えつつ感染拡大の抑制、重症化、死亡者を減らすことを目標に、感染拡大防止と社会経済の回復に向け取り組ん

でまいります。

**又吉**：そのような状況の中、知事自らバーベキューやライブハウスのロックコンサート出演、その後の2次会、3次会との行動には県民には全く理解できません。

2022年5月に発覚した交付金申請の10億円ミスについては、知事は、直接責任はないとおっしゃっておりますが、まだそのとおりに思っているんですか。

**総務部長**：知事は行政の長として公務に対する信頼を損ねることとなった事態を重く受け止め、給与減額の判断をされたところでございます。

**又吉**：県民に与えた損害額はどのぐらいになるか、試算したことはありますか。

**総務部長**：トータルで試算したことはありません。

**又吉**：それは皆さんの意識の低さ、反省のない表れとおもいます。

すでに我が沖縄県民に100億円以上の損害を与えているそう思っております。

七転び八起どころか、今の沖縄県政、七転びチャークルビとしか思いません。

## (令和4年9月定例会)

### ④物品売買契約について

**又吉**：乙第14号、15号16号議案の物品売買契約について一連の流れを順を追ってご説明ください。

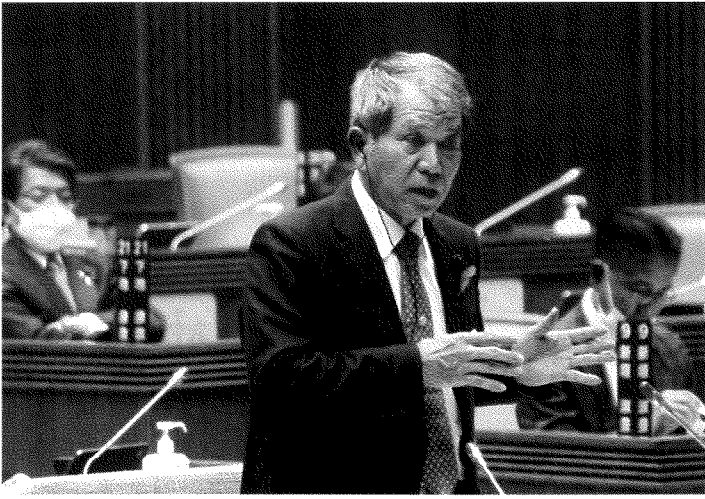
**保健医療部長**：この議案については、7,000万円を超える財産購入となります。議会の議決を得てないということについて、契約が有効ではないということでございました。

**又吉**：引き続き議案第16号についてもお答えください。

**保健医療部長**：抗原キット20万回分購入した事案で、議会の議決を得なければ無効であるということがございます。

**又吉**：この3件の議案を出す中で、残念だけれども三役から謝罪の一言もありません。謝罪する気は一切ないということですか。

**副知事**：全庁的に契約のチェック議案の対象となるも



のチェックについて改めて周知を行い、再発防止に努めていきたいと考えております。

**又吉：**皆さん、三役として、部下が失敗をした、ミスをした。本来ならば一日も早くそれを処理し、そしてそれを立て直すのが筋だと私は思っております。三役の責任が全く見られない、心痛くないですか。

**保健医療部長：**不適切な対応だったと言うふうに反省をしているところです。

**又吉：**6月議会でも10億円の交付金申請ミスが発覚した、又今回の9月議会でも3件のミスが明らかになった。あとは、委員会に引き継ぎます。

**総務部長：**各部署等の主管課長で構成致します。内部統制推進本部幹事会を開催いたしまして、再発防止につなげてまいりたいと考えております。

## ⑤マスク着用の現状について

**又吉：**6月にもお聞きしましたが、マスク着用のあり方について、教育長、学校現場を見たことがありますか。

**教育長：**体育の授業、運動部活動等、登下校の際にはマスクの着用は必要ないことをしっかりと指導し、理解を図っていきたいと考えております。

**又吉：**着用したい人は別にやっていいんです。取りたい人もいます。しかし先生に叱られ、白い目で見られる、これは良くないことです。朝の挨拶、マスクの顔より、笑顔が見られる挨拶がどんなに気持ちがいいです。

## ⑥大幅に増加した超過死亡について

**又吉：**60歳から65歳、それ以外の年齢はほとんど未接種者が低いと。そういう資料を基に県民に周知徹底を図るべきだと思います。

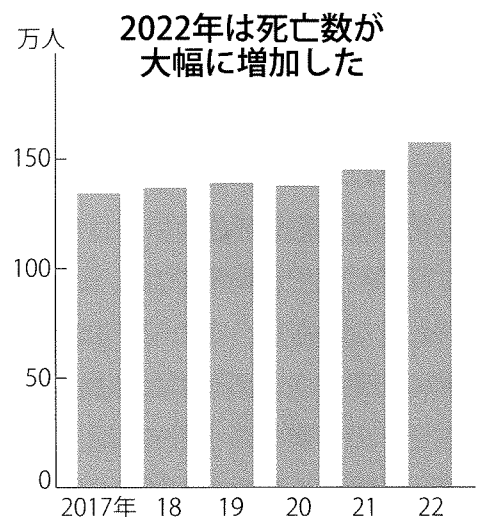
**保健医療部長：**県民には、まず重症化予防のためにワクチン接種をお願いしてありまして重症化予防に努めていただきたいと述べているところでございます。

**又吉：**ワクチン接種は感染を防ぐものではなく、発症の重症化を抑えるとの事ですが、今年度、県民の死亡者が急激に増え始めています。前年度と比べてどのぐらい死亡者が増えているのかご説明ください。

**保健医療部長：**令和3年と4年の死亡者を月ごとに比較させていただきます。令和3年1月が1,220名に対し4年は1,228名。2月の令和3年が1,166名に対し4年は1,133名。3月の令和3年が1,075名に対し4年は1,249名。

4月の令和3年が1,065名に対し4年は1,223名。5月の令和3年1,087名に対し4年は1,162名。6月の令和3年1,065名に対し4年は1,204名。7月の令和3年1,183名に対し4年は1,376名となり死亡者の増加は確かにみられると考えます。

**又吉：**県民の命を守るために、県内でなぜ死亡者が増えているのか調べるべきです。死亡者が増えていますと一言で片づけてはいけません。どのような死亡者が増えていますか。



(出所) 厚生労働省の人口動態統計 (速報)

**保健医療部長**：今県内の中で死亡者が一番多いのが、ガンで3,453人。2番目が心疾患で1,812人。3番目が老衰で1,308人。4番目が脳血管疾患70人。5番目が肺炎で490人。コロナは377人と統計がとられています。

**又吉**：正しく分析をして、コロナ以上にこんなにも別の死因が増えている現状にもっと重きを置くべきですよ。ガンはコロナの10倍、心疾患が5倍、老衰が4倍です。

## ⑦先住民問題について

**又吉**：知事は、自ら辺野古問題を国連に訴える計画があるとの事ですが、国連より琉球・沖縄の人々を先住民として認めよという勧告が5回出されています。琉球・沖縄の人々とは誰のことですか。

**知事公室長**：一般的には、琉球・沖縄の人々とは、現に沖縄に住んでいる方々、それから沖縄に親族等のルーツのある国内外のウチナーンチュの方々など、広範囲なものであると思われま

**又吉**：部長は日本人ですか、先住民ですか、どちらですか。

**知事公室長**：私は日本人です。

**又吉**：知事は日本人ですか、先住民ですかどちらですか。

**事**：ウチナーンチュであり日本人です。

**又吉**：ですからこのように国連勧告が5回も出されているのに対して、皆さん、今沖縄県で、沖縄県民は先住民であるかどうか議論をしたことはありますか。

**知事公室長**：これまで沖縄県民が先住民であるかどうか議論をしておりません。

**又吉**：議論をしていなければ、是非国連にこれは間違いですと訂正を求めるべきだと思います。

## (令和4年12月定例会)

## ⑧安全な飲料水のためPFOS、PFOA対策について

**又吉**：県の管理する浄水場において、北谷浄水場の

PFOS、PFOAの値は他の地域と比べてどの様になっているか伺います。

**企業局長**：北谷の浄水場の令和4年度のPFOS、PFOA等の平均値は、10月末現在で1リットル当たり4ナノグラム、その他の浄水場は1ナノグラム未満となっております。

**又吉**：北谷浄水場が他の浄水場と比べて高いということとは明確であります。

安心、安全な飲み水を提供するのに県企業局はどの様な対策、取り組みを行っておられるか伺います。

**企業局**：北谷浄水場におきましては、1点目に北部ダム等の取水増量による中部河川からの取水の抑制、2点目は、PFOS等吸着効果の高い活性炭の導入、3点目は、北部国ダム等からの取水が減少する東系列導水路トンネル工事期間中金武、漢那ダムの取水増量や海水淡水化施設における生産水の大幅増量などであります。

**又吉**：その中で、中部水源からの取水もあるのか、お答えください。

**企業局**：中部水源につきましては、比謝川等の河川等からの取水はなく、井戸群について1日平均約5,000トン程度取水を行っております。

**又吉**：中部井戸群から取水を完全に断ち切ることにより北谷浄水場が他の県管理浄水場と同じレベルになるためには、どうあるべきか、その解決策を伺います。

**企業局**：北部国ダム等からの取水を増量し、中部水源からの取水を抑制しておりますが、東列水路トンネル工事の老朽化に伴い、毎年改修工事が必要となっており、同工事期間中は北部国ダム等からの取水が減少するため、海水淡水化施設の生産水の増量などで対応しております。工事完了後は、1年を通して北部国ダム等活用したPFOS等低減が可能になると考えております。

**又吉**：東系列導水路トンネル工事で、どうしてもやむなく取水をしないといけないと、このトンネル工事の工事期間、予算はどの様になっているか、また進捗状況について。



**企業局：**当該導水路トンネルは、全長約28キロメートル、平成28年度から工事に着手し、令和24年までの計画で、総事業費は約230億円。現在、進捗率は9.1パーセントです。

**又吉：**中部地域の皆様は、工事が完了するまでは他の浄水場よりPFOSの高い水を飲料しなければならない。令和24年までの工程で、230億円の予算との事ですが、一日も早く解決するためにはどうあるべきか、お答えください。

**企業局：**工事短縮に向け、工法の変更や高性能な建設機械の導入、換気方法の改善による酸欠の回避と工事個所の増加などについて検討を開始したところであり、工期短縮に向け取り組んでまいりたいと考えております。

**又吉：**一日も早く東系列導水路トンネル工事は早く完成させるべきであると思うが如何か伺う。

**企業局長：**工事期間が長期にわたるということについては、非常に問題があるというふうに認識してございます。

早急に検討を進め、可能な限り短縮することについて実現してまいりたいと考えております。

**又吉：**北谷浄水場に危惧されている中部水源からの取水を一日も早く断ち切るために、その予算と工期を組むべきであり、健康を守るために26年の工程ではなく5年以内の完成を目指すべきであります。

**知事：**PFOSの原因究明と早期の解決も同時に図り、どのような対策がとれるか、真摯に、そして早期に実現していきたい。



**又吉：**工期が26年かかる予算の組み方でよろしいですかと私は聞いております。一日も早くでありますので予算を増やすことで工期は短縮されます。それぐらいの努力はするべきと解します。再度伺います。

**知事：**技術の開発や財源の確保等によってトンネル工事を先に進めることが出来れば、県民の健康に安心、安全な水をとどける事になると、しっかり検討していきたいと思っております。

**又吉：**26年の工期は長すぎます。知事は辺野古移設は10年では長いという割にはその2.6倍。県民の健康がないがしろにされているのは、納得いきません。

## ⑨ コロナ感染対策と現状について

**又吉：**コロナで一番恐れている、懸念されている点は何でしょうか、お答えください。

**保健医療部長：**コロナに感染することにより、その方々が重症化し、あるいは亡くなる事だと考えています。

**又吉：**私もそう思います。ワクチン接種率と感染率について、日本全国の4回目ワクチン接種率が高いベスト5の地域は、感染率はどのような状況になっているか伺います。

**保健医療部長：**4回目接種率が高い5つの自治体ですが、12月5日時点のデータによりますと、もっとも高いのが秋田県、次が岩手県、山形県、新潟県、青森県の順に接種率が高く、現在の感染率は秋田県が3位、岩手県が7位、山形県が

5位、新潟県が5位、青森県が8位となっております。

又吉：4回目ワクチン接種率の1番低い県のコロナ感染率は全国で何位か伺います。

保健医療部長：ワクチン接種率の1番低い県は、沖縄県で、直近の感染率は47位で1番低い状況となっております。

又吉：4回目ワクチン接種率の高い県は、コロナ感染率も高い地域が多いと、接種率の低いところは、コロナ感染率も低いと。解釈してよろしいですね。

保健医療部長：直近の感染率は、議員がおっしゃるとおりの現象が起きていることとなります。

● 沖縄県は、10月、11月も今度は全国で感染率が1番低い県となっております。

又吉：コロナ感染者の重症化や致死率は、インフルエンザと比較してどの様になっておりますか伺う。

保健医療部長：国のアドバイザリーボードの資料によりますけれど、令和4年3月から4月の10歳未満の新型コロナ感染者の重症化率、致死率はコロナ感染に比べ、インフルエンザの重症化率が高くなっている状況です。

又吉：インフルエンザのほうがコロナ感染よりも重症化率、致死率が高いということですね。

● 令和4年の第7波の重症化、致死率は、財務省の11月7日に社会保障を提示した資料ではどの様になっておりますか。

保健医療部長：重症化率、致死率ともにこのデータでは季節性インフルエンザのほうがコロナウイルスよりも高いデータが示されています。

又吉：コロナ感染で1番恐れるのは重症化であり、死亡と言っております。しかしコロナよりもインフルエンザが高いです。

今県民に務めているワクチン接種は全て治験中だとのことと思いますが、間違いはないか伺う。

保健医療部長：長期的に見て有効性とか安全性がどうかという視点での検査、臨床試験あるいは治験が行われ、その情報を集めるために、いま、治験が一部続いているところです。

又吉：そうすると治験中とはどの様に、何を意味するのか、県はどの様に解釈をしているのかももう一度伺います。

保健医療部長：いろいろな情報、治験について有効性等についての臨床試験のような形です。

又吉：全国民が臨床試験の対象者になってしまっている。臨床試験とは、お互いが治験中だということですよ。是非正しく言うべきだと思います。

## ⑩これまでの訴訟と結果について

又吉：12月20日の辺野古埋め立ての抗告訴訟に関する最高裁判所判決に対する考え方についてお尋ねいたします。昨日敗訴というのが出ましたが、県はどの様なお考えか伺います。

知事公室長：今後の対応については、判決文を十分に精査致しまして、決定していきたいというふうに考えております。

又吉：玉城知事が就任してから訴訟等は何件あり、その結果はどの様になりましたか。

知事公室長：敗訴が3件、取り下げが1件、継続中は3件ということになります。

又吉：これまでの訴訟のトータルは12件になると思いますが、この結果はどの様になりましたか。

知事公室長：件数12件のうち、敗訴が5件、取り下

	訴訟	提訴日	備考
①	代執行訴訟	H27.11.17 【国の提訴】	
②	抗告訴訟 (執行停止決定)	H27.12.25 【県の提訴】	和解による取り下げ
③	関与取消訴訟 (執行停止決定)	H28.2.1 【県の提訴】	
④	不作為違法確認訴訟	H28.7.22 【国の提訴】	敗訴
⑤	岩礁破砕差止訴訟	H29.7.24 【県の提訴】	敗訴
⑥	関与取消訴訟(執行停止)	H31.3.22 【県の提訴】	係属中に裁決がされたため 県が取り下げ
⑦	関与取消訴訟 (議決)	R元.7.17 【県の提訴】	敗訴
⑧	抗告訴訟(裁決)	R元.8.7 【県の提訴】	係争中
⑨	【サンゴ】 関与取消訴訟(是正の指示)	R2.7.22 【県の提訴】	敗訴
⑩	関与取消訴訟 (裁決)	R4.8.12 【県の提訴】	係争中
⑪	関与取消訴訟(是正の指示)	R4.8.24 【県の提訴】	敗訴

これらの争訟費用の総額は2億2,375万8,026円

## (令和5年2月定例会)

### ⑪新型コロナウイルス対策について

PCR 検査件数(累積)	111,552,630 件
検査陽性者数(累積)	33,076,693 人
検査陽性率	29.7%
検査陽性者死亡数(あらゆる死因を含む)	71,579 人
検査陽性致死率(あらゆる死因を含む)	0.2%
検査陽性者死亡数(人工呼吸治療実施)	2,592 人
検査陽性致死率(人工呼吸治療実施)	0.00008%
2020年～22年上期迄の全死亡数	3,589,457 人
上記の内コロナ死(呼吸器疾患)が占める割合	0.07%
現在のコロナ重症者数	221 人
入院・宿泊療養・自宅療養中	445,449 人

コロナ第1号患者発生から3年と1月余りの現状

げが4件、現在継続中が3件となっております。

**又吉:** この結果からして、12件の訴訟のうち皆様方は1件も勝訴がない、県の取り組み方は間違っているのではないですか、基地問題は解決しますか。皆様方は、対話が大事と言いながら、裁判だけを行っているじゃないですか、これでいいんですか。

**知事公室長:** 裁判をするからには、当然その訴える利益があるということで訴えてきているということです。

**又吉:** 私は利益は何もないと思います。普天間飛行場が動くことにより、480ヘクタールが150ヘクタールに小さくなり、嘉手納以南の1000ヘクタールは返還される。

立派な基地の整理縮小であり、基地の負担軽減です。

辺野古埋立区域②



K-4 護岸



**又吉:** 5月8日からコロナ感染症が感染症法の第2分類から第5分類へ引き下げられるとの事ですが、県の対応取り組みなどについて。

**保健医療部長:** 5月8日に予定をされている5類感染症への位置づけ変更に伴い、年度途中で終了するもの、段階的に見直しするものが生じてくると認識しております。

**又吉:** 48の感染症がある第5分類感染症において、一つでも国の手当てがある感染症はありますか。

**保健医療部長:** 感染症で入院する際の補助はというのは、第5類感染症ではないというふうに認識しております。

**又吉:** そうですね、一つも国の支援、補助なり実績はないわけです。コロナは終息に向っているのに、事業費が増えている。修正すべきではありませんか。

**保健医療部長:** いろいろな項目によって、年度途中で見直される可能性があるかと認識しております。

**又吉:** まさしくその通りだと思います。これまで非常に被害を受けてきた、企業、農家その他もろもろの支援、経済活性化に向け、早急に充てるべきだと思います。

**保健医療部長:** 沖縄県の全人口に対するワクチン接種率は、1回目72.2%、2回目が71.2%、3回目が



51.4%、4回目が29.4%、5回目が12.7%となっております。

又吉：ワクチン接種率が12.7%で平均以下の以下である沖縄県、コロナ感染は蔓延しておりません。是非こういうものは調査研究してください。

## ⑫県人口動態の「自然増減」について

又吉：一貫して増え続けていた県人口が年間を通して初めて減少に転じたことが明らかになった。人口減少問題についてどのような危機意識を持っているのか伺う。

企画部長：死亡数が出生数を上回る自然動態の減少が、12ヶ月続いております。

今後見込まれる人口減少社会では、その影響で社会保障システムの維持や地域社会活動の維持が困難となることや、経済活力の低下などが懸念されます。

又吉：沖縄県の平均寿命について伺います。

保健医療部長：20歳から64歳の働き盛り世代において、年齢調整死亡率が全国に比べて高いことが全国順位を下げる要因となっており、長寿県としての地位は危機的状況にあります。

又吉：第2次健康沖縄21の進捗について伺います。

保健医療部長：84項目のうち、改善傾向にあるものは36項目の2.8%、かわらない又は悪化しているのは、35項目の41.7%となりました。健康を支えるための社会整備は進んだものの、メタボリックシンドローム該当者や血液コントロール不良等の健康指標項目の多くが悪化しております。

又吉：健康おきなわ21の目標達成率の状況について伺います。

保健医療部長：健康おきなわ21の中には84項目があります。それについて目標に達した、あるいは改善傾向にある、変わらない、それから悪化しているなど、数字は先程述べた数字です。

又吉：だから非常に危惧をしております。県民の健康、これでいいのか。平均寿命であり、メタボリックであり、子供たちであり、みんな大変危

機に瀕している。

私は到底目標に達するとは思っておりません。早急な見直し、改善を図るべきです。

又吉：有機フッ素化合物残留実態調査事業について伺う。

環境部長：県内のPFOS等の残留実態を把握するため、令和5年度の有機フッ素化合物残留実態調査事業により、基地周辺以外を含めた宮古、八重山地域も対象とする全県的な水質と土壌中のPFOS等調査を実施することとしております。水質及び土壌の調査地点数は、それぞれ40地点程度を考えております。国に対し土壌に関する基準値等の設定を求めてまいります。

## ⑬内部統制機能の強化について

又吉：成果指標として「内部統制評価における重大な不備数」の目標値が3件や2件となっているが、重大な不備を生じさせないのが内部統制の目的であり、目標値として不適切ではないか伺う。

総務部長：内部統制機能の強化に関する成果指標について令和2年度に3件、3年度に4件、議会の議決を経ない契約等の実態が発生しており、公務の遂行にあたっては常に重大な不備の発生をゼロにすることを目指すべきであり、今後目標値の見直しを図ります。

又吉：内部統制機能の強化に関する取り組み方をお伺いします。

総務部長：内部統制推進本部会議において、改めて全庁的に事案を共有し、内部統制リスクとして国費請求事務に関するチェック項目を新設などの取り組みを行います。

又吉：重大な過ちはあってはならない事柄です。だから目標数値は絶対0でなければなりません。

総務部長：議会の各会派に最終案のご説明を差し上げそれも踏まえた上で最終案の見直し等も図るということです。

又吉：このような目標数値を沖縄県の行政目標として持つべきではありません。

重大な不備はゼロにするんだという強い決意をするべきであります。どう思いますか知事。

**知事**：公務の遂行にあたっては、常に重大な不備の発生はゼロとするべきであるというように、その見直しを図っていきたいと考えております。

**又吉**：しっかりゼロにするんだという強い意気込みがない限りは厳しいかと思えます。

#### ⑭ マスク着用に対する子供達からの声

**又吉**：3月13日からはマスク着用は個人の判断に委ねられます。現在の学校現場等のマスク着用の実態について伺います。

**教育長**：卒業式及び令和5年4月1日以降「マスク着用を求めない」との周知を行ったところであり、着用の有無による差別、偏見等が無いように丁寧な説明を行うよう促しているところであります。

**又吉**：学校現場の子どもたちの気持ちを、是非知っていただきたい。

民間団体によるマスク着用に対する県内の実態調査がありました。

1. 先生からどのような注意を受けたか。

- ・「マスクをしないと内申点を下げるぞ」
- ・授業中喋らないのにマスクを外したら、「外に出て行けと言われた」
- 給食のときに友達と喋ったら給食を取り上げられた。

2点目にいじめです。

- ・マスクを外したら、「バイ菌」、「コロナがつるからあっちいけ」と言われた。
- ・マスクを外して外で遊んでいたら友達に「なんでマスクをしないんだよ」と責められ怖い思いをした。
- ・学校から許可をもらいマスクを外しているのに、「悪者扱いにされた」
- ・マスクを外しただけで保育園に行けなかった。

3点目に子どもたちの叫びです。

- ・マスクを外している子はいないから、「苦しくても付けてほしい」

- ・「マスクがしんどくて学校に行きたくない」
- ・「マスクで顔がかゆい」
- ・クラスメイトの顔を知らない。
- ・授業中、「マスクでこもって集中できない」
- テストの時ぐらい外したい。
- ・マスクを外せる人が多くなれば外せるけど「今は怖い」。

大人はマスクを外して楽しくご飯を食べたりお酒を飲んでいるのに、「学校給食は何で黙食なの」「苦しいからマスクをしたくない」「先生はいつも怒鳴ってばかり」教師が怒っているのかどうかの顔を察することが出来ない子どもたちが多く感じられる。このようなアンケート結果が出ております。

学校現場を調査したことはありますか。

**教育長**：今ご紹介いただきました学校の状況、真摯に受け止めていきたいと思えます。

今お話があった具体的な内容については、そこまで把握はしていないところであります。

こういった様々ないじめに繋がるとか、今後はこのマスクを強いるとかそういうことが無いようにしっかり対応をしていきたいと思えます。

**又吉**：マスコミ等でもしっかりPRをし、横断幕でも周知徹底をする、子どもたちを救ってあげてください。

尚、マスク着用は3月13日からは個人の判断委ねられます。強制ではありません。

今一度しっかり周知徹底に取り組んでください。

議会活動報告

広報印刷代(仲村家治版)(67,000 枚)

領 収 証

No. \_\_\_\_\_

仲村家治

様

★ 619,080

印刷代(仲村家治版) 2023年3月15日発行品

2023年 12月 10日 上記正に領収いたしました

内 訳

税抜金額

消費税額等( 6%)



いちわ印刷  
代表者 新 城 英 昭  
〒990-0001 北海道札幌市東区北1-3-12  
TEL&FAX 011-857-9129

619,080 - 340,000(個人負担) = 279,080

印刷代 (67,000 部) 会派負担額 279,080 円